

「工場向けワイヤレスIoT講習会inとやま」を開催

～ 工場におけるIoTの導入効果や事例などを紹介 ～

総務省北陸総合通信局(局長 山田 和晴)は、北陸経済連合会、一般財団法人北陸産業活性化センター、フレキシブルファクトリパートナーアライアンス、北陸情報通信協議会の後援、経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、富山県IoT推進コンソーシアムの協力により、12月21日、富山県中小企業研修センター(富山市)において「工場向けワイヤレスIoT講習会inとやま」を開催し、富山県内を中心とした企業・団体等から約30名の参加がありました。

電波利用に係る知識の習得を目的とした座学講習では、日本電気通信システム株式会社の江連 裕一郎氏が、無線の基礎知識(電波の特性や関連制度等)、工場における無線の特徴、無線の導入手順等について講義を行いました。

その中で、IoT(モノのインターネット)は様々な分野で利活用が進みつつあり、特に製造業では、工場内の様々な機械をネットワークで繋げることで、機械設備の制御、柔軟なラインの組み換え、機械稼働状況のデータ化等が可能となること、IoTを工場に導入すると大きな効果が期待できる一方で、適正な取り扱い方法を理解・把握していないと、思わぬトラブルが発生してしまう可能性があることを説明しました。

その後の電波利用に係る技術の習得を目的とした体験型講習では、サンリツオートメイション株式会社の青木 信也氏が、簡易的なスペクトラムアナライザを使用して測定を行いました。周囲の2.4GHz及び5GHz帯無線LANの使用状況の確認、無線LANの電波の遮蔽物による減衰度合いや通信品質の変化の確認、加速度センサや距離センサから取得したデータのグラフ化等、工場内においてIoTシステムを構築するために必須となる事項について、実習を行いました。

今後、北陸総合通信局では、IoT機器等の導入・利活用が急速に進められている工場において、IoT機器等の電波利用に関する理解を促進したり、障害が発生した場合に自ら対処出来るよう必要な技術を身につけることのできる講習会の開催に取り組み、円滑な導入を支援します。



山田北陸総合通信局長が挨拶



講習会の様子1



講習会の様子2

お問い合わせ先
情報通信部電気通信事業課
076-233-4420